

その他の製造業－その他における死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	起因物(小)	事故の型	労働者規模
2017	1	13～14	午前中に大型ユニットハウスの屋根葺きを2人で終え、午後から同倉庫で小型ユニットハウスを別々に作業をしていたとき、屋根に日常上り下りしている2m50cmのはしごの上から被災者が転落し受傷したと思われる。	73	415	1	1～9
2017	1	20～21	会社の前の路上に出たとき、雪で足を滑らせ、転倒し負傷した。	56	417	2	50～99
2017	1	8～9	工場内のトイレを出たとき、足元のブロックがずれ、ブロックの間に右足が入り、倒れたとき右足をねじってしまった。	40	417	2	1～9
2017	1	16～17	スリーブをシェル穴部に入れ込む作業中、位置がずれてしまった為普段はひもを手で引き修正を行うが治具を使用して修正しようとしたところ、スリーブが治具からはずれてしまい左手首に刺してしまった。	22	379	8	50～99
2017	1	11～12	1FBラインとCラインの間の通路にて、カートを使用しながら仕分け済みトレイ等の運搬業務中、通路内で旋回したところ、乗せていたトレイが落ちそうになりトレイを落ちないように取ろうとしたところ、カートのタイヤに足を引っ掛け転倒した。	58	362	2	500～999
2017	1	11～12	工場内にて機械のベルト部分に指が挟まる。製品の段取中、電源をOFFにしておく事を怠り、手元のスイッチボタンに触れてしまった為である。通常、段取中は電源をOFFにしておかなければならない。	24	121	7	1～9

2017	1	10～ 11	手作業エリアで移動する際、木パレットを跨ごうとして木パレットの角に引っ掛かり躓き、手をつく前に右膝から床へ転倒した。	48	379	2	300 ～ 499
2017	1	9～ 10	ゴム練り職場のゴム塗布室にて、ゴム切断機で白ゴムを切断する作業をしていた時に、ゴムが上手く落ちてこなかったため、機械を止めずに安全カバーの下の隙間から左手を入れてゴムを落とそうとし、刃物で左示指の先端を切断した。	56	169	8	100 ～ 299
2017	1	15～ 16	クレーンを使って荷下ろし中、鋼矢版の上を歩いていたところ、足を踏み外して転倒した。	40	521	2	
2017	1	13～ 14	工場内でプレスของ金型を取り付け作業中に、ネジの締め付けをしたところ、手がすべり尻もちをつく状態で転倒した。	54	154	3	—
2017	1	11～ 12	ユーザー様に出張修理の際、当社製品である工作機械より部品（モーター）を機外へ取り出す際、中腰のまま作業した為腰を痛めた。	45	612	19	1～9
2017	1	16～ 17	工場内塗布機での生産作業中の事故。作業者が、回転テーブル上の型枠に生地をセットする際、型枠に付着した水滴に気付き雑巾で拭き取った。その後、雑巾を回転ボタンを押したままの状態、回転テーブルの隙間上部から右腕を差し込み、台に置こうとした。それと同時にテーブルが回転し、テーブルと設備の間に右腕を挟まれた。挟まれた作業者が、とっさに腕を引き抜いた際、右手中指を切創し、右腕に挫傷を負った。	42	169	7	100 ～ 299
2017	1	15～ 16	本社、1階製品加工場で、昇降盤を使用して塩ビ板5mm、製品（600mm×370mm）残板（600mm×630mm）を切断した後、製品を移動させようとした時に誤って、左手の人差し指、及び小指を負傷した。当時、職長と負傷者の2名で作業していた。板を移動させる時の不安全行動として、切断刃（回転体）完全停止前に行動したこと、板を持ち上げ時に滑って手が刃へ向いたこと、回転体を直視せずよそ見をして停止確認を怠ったこと、慣れによりKYを怠っ	26	159	8	10～ 29

			たことが考えられる。				
2017	1	15~ 16	1号ドック入渠艦内で、主機開放作業のため、工具箱（重さ25kg）を持って機関室に向かう階段を下りているとき、3段目のステップを誤って踏み外し、バランスを崩して階段下まで転落し負傷した。	41	413	1	1~9
2017	1	10~ 11	高さ2.4メートルのコンテナのフロント側に脚立（5段、1.5メートル）を立てて乗り、コンテナ上端付近の外壁の曲がりを直す作業をしている時、バランスを崩して脚立ごと背中側に転倒し、ヘルメットごしに地面で後頭部を強打した。	52	371	1	10~ 29
2017	1	11~ 12	第3工場包装室で、包装機へ半製品を投入・選別する作業中、半製品投入口の位置が高く半製品の箱も重かった為、繰り返し箱を持ち上げた際に上半身に負担がかかり骨折した。	57	611	19	50~ 99
2017	2	17~18	工場の出荷場にて、フレコンバッグの紐掛け作業終了後、安全帯を外し、2段目から1段目へ移動して降りる時、フレコンバッグの側面にある紐に足が引っ掛かりバランスを崩してしまい、2段目から落ちてしまった。当日病院を受診したが異常は無く帰宅し、2カ月間通常通り勤務していたが、頭痛が気になり別の病院を受診したところ、入院が必要と診断された。	37	611	1	30~ 49
2017	2	16~17	工場敷地内に於いてフォークリフトを使用し積込作業時パレットのゴミを落とす為、リフトのつめを上下に振動させた時（行ってはいけない事）マスト上部のテンションローラーとチェーンに不具合が起きた為、手で直そうとした時チェーンとローラーの間に指を挟んだ。通常外れない場所なので少し引っ掛かった状態になっていた為、触った位で外れたと思われる。	41	222	7	10~ 29
2017	2	14~15	被災者は寮内へ畳（重さ約20kg）1枚を担いで搬入しようとしたところ強風にあおられ転倒した。左脚大腿骨を骨折したものである。	29	719	2	—
			製品抜取後、安全靴を着用の上、6階へ行き製品タンクの空を確認する作業中、フロアが暗い中、懐中電灯の灯りだけで製品タンクま				

2017	2	17~18	で向かい、戻ろうとしたところ、床に付いているレベル計に左足を引っ掛け、再度左足を地面に着地する際に、左足をひねり左腓骨外顆および関節部分を負傷したものである。	25	419	19	30~ 49
2017	2	10~11	塗装小屋入口上部のH鋼のサビをケレン作業中、脚立（6尺）の足が伸びるタイプで、少し無理な姿勢でいたため、バランスを崩し、脚立が倒れ落下し、左足のかかとを骨折した。	54	371	1	10~ 29
2017	2	9~10	鶏生産農家で、鶏出荷後の鶏舎よりコンベアーを使い鶏糞を掻き揚げ車に積む作業中、コンベアーの駆動電源を切らずに掻き揚げ車に上り、コンベアーの清掃をしようとした為、右手をコンベアーに巻き込まれ負傷したものである。	41	224	7	10~ 29
2017	2	17~18	滅菌台車に積載された滅菌ラックの最上段（8段目）を荷下ろしするため、滅菌ラックを持ち上げたところ、下段（7段目）の滅菌ラックも持ち上がりずれてしまった。（場所：1号棟1階梱包室内）慌てて持っていた滅菌ラックを元に戻し、ずれた7段目の滅菌ラックを右手で直そうとし、焦っていた事により手元が狂い右手首を捻挫してしまった。	31	921	19	500 ~ 999
2017	2	10~11	第二ライン前処理工場にてコンテナバックを洗う作業でコンテナバックがいくつも床に並んでいてそのコンテナバックに足をひっかけ転倒してしまった。転倒した際、床のコンクリートに胸を打ちつけた。	41	379	2	50~ 99
2017	2	14~15	櫓の枝下し作業中、ハシゴを2箇所固定し切り下した枝とハシゴに足をかけて、被災者本人より上部にある長さ1m、太さ23cm、重さ約15kgの枝を吊し切りしていた際に、切断後、切り離れた枝が被災者本人の方向に振れたので、避けようとしてバランスを崩して墜落し下部にある支幹に接触した後地面に落ちた。	56	712	1	10~ 29
2017	2	9~10	2階事務所入り口で作業打ち合わせ後、階段を下りる途中で段を踏み外し下まで転げ落ちた。その際、手で体をかばった為両手首を	54	413	1	50~ 99

			負傷した。				
2017	2	14~15	本社工場内で品物を上部のラインにかける作業を行っていた際、少し時間が空きその場に止まりラインを見ていた。この時同僚運転のフォークリフトが左後方から近づいてくるのに気付かず、また同僚は被災者がリフトに気付いているものと思い、左前方の品物をすくうため右にやや旋回しながら被災者が近づいた際、リフトが被災者と接触し、右車輪で被災者の左足を踏んだ。	67	222	7	10~ 29
2017	2	14~15	塗型槽Bで、製品の型にエタノールを塗布後、ゴム手袋に付着したエタノール塗型剤を拭き取るのを忘れて作業台に移動し、その手でエタノールを飛ばすために着火しようとして手袋に引火した。近くで作業していた二人が叩いてすぐに消火したが、両手掌、手指に火傷を負った。	43	512	11	50~ 99
2017	2	14~15	工場内でバンドソーにてプラスチック製の自動車部品（縦10cm、横30cm）の粗取り作業をしていたところ、両手で部品を持ち、上下に動く帯ノコ刃（幅1cm、厚み2mm）に向かって部品を奥に動かしながら切った際、帯ノコ刃が右手環指に当たり負傷した。	56	169	8	50~ 99
2017	2	9~10	ノコ盤を使用して、550×70×12mmの木材の縦引き作業中、手が滑ってしまい右手拇指を負傷した。	47	131	8	50~ 99
2017	2	11~12	コンテナ車内での作業中、ピート原料ケース（20kg~25kg）を自分の背丈ほどの場所から下ろす作業を行っている際、ピート原料ケースが頭上より落下し首に当たり負傷した。	66	529	4	30~ 49
2017	2	12~13	当該計器の取替工事を完了し、車両へ戻るべく、隣家との間の道路を右手に脚立を持って移動中、足をのせたブロックが取れバランスをくずした際、尻を打ち同時に左手をついて受傷した。その後、少し痛みがあったものの通常通り就業した。	47	418	2	50~ 99
2017	2	17~18	工場内旋盤（NLX2500Y/1250）でワークの内径加工の段取り中、φ25内径のバイトでφ39下穴をX-2から加工している時、機械の扉を半開きにしていたことと、ワークの掴みしろが少なかったこ	28	521	4	50~

			とにより爪からワークが外れ飛んできたワークが腰に当たり左の骨盤を骨折した。					99
2017	2	16~17	3人一組で原料タンク検尺の棚卸し作業中、工場棟5Fから4Fへ移動し降りる際、足を踏み外した。その時、両側階段手すりを両手で持っていたため、体の強打は無かったが、両肩の関節脱臼となった。	33	413		1	10~ 29
2017	3	13~14	配合飼料（油脂）貯蔵タンクの温度を上げるため、タンクに付設されている鉄製梯子を登り、12段目高さ3.5m付近で蒸気バルブを閉める作業を終え、降りている途中、誤って足を滑らせコンクリート地面に落下し、左大腿骨骨折及び左肋骨付近を骨折した。なお、ヘルメット及び安全ロープは未装着であった。	60	371		1	10~ 29
2017	3	11~12	基盤梱包作業場でベニア箱にのぼり、畳んであるフルカバーを広げ、ベニア箱の四隅に合わせるため、足を脚立に掛けようとしたとき、足を踏み外して落下転倒し、後頭部を損傷した。梱包作業員は2名の共同作業だが、次に使用するベニア箱準備のためにもう1人が屋外にあるフォークリフトを取りに行き、基盤梱包場に戻ると被災者が床に転倒しているのを発見した。なお、保護具（綿保護具付帽子）は着用していた。	59	371		1	30~ 49
2017	3	9~10	ステンレス鋼材（Φ90×800L）を手で持ち運びする際に転倒し、右肩を強打した。	40	416		2	10~ 29
2017	3	8~9	事務所上（高さ2.4m）に保管してある棺布団のダンボールを床に下ろす作業中、バランスを崩し、飛び降りる形で落下し、右足踵を強打し受傷した。	67	611		1	1~9
2017	3	15~16	通常作業の1つである大型金型を放電加工機に工具を使い取りつける際、金型の角の薄いエッジに左手首付近をぶつけ、6針を縫う裂傷を負った。	44	332		8	50~ 99
			1F4号機の清掃中、シフターの止め具のナットをきつく締めすぎて					50~

2017	3	14~15	レバーが固定出来ない状態となり、反動で跳ね返った際に外れたバンドが口元に当たり、唇の上辺りが切れてしまった。	38	391	4	99
2017	3	13~14	倉庫で、荷物が雑然と置かれていたため荷物と荷物とのやっとなが入る10cm程のイ字型の隙間に片足ずつ入れ、無理な姿勢のまま約10kgの荷物を持ち上げた瞬間、バランスを失い転びそうになり、姿勢を立て直そうとした瞬間に腰に激しい痛みを覚え、そのまま動けなくなり、急性腰痛症と診断された。	59	611	19	30~ 49
2017	3	18~19	古床を保管している場所で、古床を養生しようとしたところ、高所から落下し足を骨折した。	43	529	1	1~9
2017	3	16~17	スピードミキサーで異音が発生し、稼働部を確認したところ、ベルトとプーリーが停止していたが駆動モーターと同軸は動いていた（回転していた）。プーリーと同軸間のベルトを右手親指で触れた際、急にベルトが回転し、ベルトとプーリーに右手親指が挟まれた。	26	121	7	1000 ~ 9999
2017	3	9~10	自社倉庫内において、ピッキングリフトに乗って高所（2m）の棚にある製品の棚卸作業をしていたところ、バランスを崩して製品とともに地上に転落した。	46	222	1	100 ~ 299
2017	3	18~19	2階オイルシート検査室から3階段を下りる途中に、右脇ポケットからブレスレットを出そうとした時、足がもつれて階段から滑り落ち、右腕を骨折し、左手小指を打撲した。	58	413	1	100 ~ 299
2017	3	17~18	発注書を手に持ちながら3Fから2Fに下りる時に足をふみ外し、強打した。転倒直後は頭がふらふらするだけだったが、その後、頭痛や腕首の違和感、鼻から甘い液体が鼻の上の方から口に流れるようになった。又、首の違和感や耳鳴りなども出るようになった。	28	413	1	10~ 29
2017	3	13~14	工場内にて穴あけ作業中、ボール盤に巻き込まれて指を骨折した。	75	152	7	10~ 29
2017	3	7~8	工場2階の材料投入口で、1袋25kgの材料を投入しようとして腰を	33	611	19	1~9

			痛めた。				
2017	3	17~18	現場作業場で作業終了後の後片付けをしている時、後方から声を掛けられて振り返った際に、足元にある台車に接触し転倒し、右手で受け身を取ったとき右肘を強打し骨折した。	50	362	2	10~ 29
2017	3	14~15	書類を届けるため車をとめて歩道を歩いていたが、地面の段差に気づかず躓いて転び、右目付近・左手首・右肩を打撲した。	68	417	2	10~ 29
2017	3	11~12	本社工場内において、木製の梱包箱の底の部分の加工中（角材:縦17cm、幅14cm、長さ3m、重量40kgを連結し、角材の穴あけ作業）、角材の間を移動しようとした際にバランスを崩し、地面と角材の隙間（製品が地面につかないように角材をかましていた）に右足を挟み、そのまま後ろ向けに倒れた際、右足くるぶしを負傷した。	27	417	2	10~ 29
2017	3	15~16	工場内で生地に版をプレスして印刷をする作業をしていた所、誤って機械を作動させた、指を挟み骨折した。	55	166	7	10~ 29
2017	3	10~11	団扇製造の作業中に、左手環指指尖部を圧着機ローラー部に巻き込まれた。	55	163	7	1~9
2017	3	7~8	原反巻取機にて巻き替えトラブルの調整作業を行っている時に、エアの吹き出し角度を確認する為、原反をカットする鋸刃との間に左手を入れた状態でエアスイッチを押そうとした。そのスイッチボタンはタッチパネル上にあったが、パネルを見ていない状態でスイッチを押した為に位置がずれ、鋸刃のボタンを押し、鋸刃が作動して左手指を切創した。	51	163	8	50~ 99
2017	4	4~5	ロータリーフィーダ内にある管内にある綿状の物を除去する作業をするため、ロータリーフィーダの停止ボタンをOFFにしたと思ったところ、OFFではなくONのボタンを押してしまい、またパトランプ及びチェーンの点検を確認せずに手を入れて、右手の指を切断してしまった。（機械作動中はパトライトを点灯している。）	41	169	7	10~ 29

2017	4	15~ 16	敷地内の屋外広場で行われた会社のレクリエーション行事に参加中、パイプ椅子に着座し居眠りをしていたときに前のめりに倒れてしまい、顔面を地面に打ち付けて負傷した。晴天であり、気温も約20℃と適温だったことから、居眠りをしてしまったものと思われる。	49	379	2	50~ 99
2017	4	15~ 16	工場内にて合紙機で原紙を貼り合わせる作業中、中央部の原紙差し込み部分のゴムローラーに原紙が付着してしまい、原紙を除去する為ローラーを停止させずに右手に持った雑巾をローラーに当てたところ手が滑り、右手が巻き込まれて負傷した。	46	166	7	50~ 99
2017	4	13~ 14	第一工場仕上作業場において、カッターの刃を交換するため、替刃ケースのふたを開けようとした際、同じケースに保管してあった接着剤が漏れてふたの部分が接着されて開けなかったため、別のカッターで削ったところ、カッターが滑り左手親指を切ってしまった。	46	364	8	50~ 99
2017	4	19~ 20	工場内でプラスチックケース製品の洗浄作業をしている際、ベルトコンベアから流れてきた製品のバランスが不安定で、通常は機械を止めて直すところ、不注意で手動で対応しようとしたところ、製品と機械に左手を挟み裂傷した。	47	224	7	1~9
2017	4	9~ 10	配達先駐車場での商品積み下ろし時に、荷台から飛び降りたときにバランスをくずし、左足のふくらはぎを痛めた。	46	221	3	30~ 49
2017	4	9~ 10	当工場内において、脚立（高さ160cm）に乗って塗装する製品を取ろうとしたところ、バランスを崩して転倒し、右手首を負傷した。	23	371	1	1~9
2017	4	11~ 12	古くなって使用しなくなった電気溶接機（100kg程度）をスクラップ業者のトラック荷台に積むとき、チェーンブロックで吊り上げた溶接機とトラック荷台の高さが合わず、手で積み込んだときに溶接機が滑り、右手中指をはさみ負傷した。	67	339	7	1~9
2017	4	14~ 15	作業場においてユニットハウス組立中、幅90cmのカラー鋼板の壁パネルを入れようとして、パネルが約20cm下に滑り落ち、持っていた右手親指を切傷した。	36	611	8	10~ 29

2017	4	9～ 10	ボールミル機の中のサイト板取り替え工事のため、板をロープで吊って外に出す作業中、ロープがボールミルを止めているワイヤーに引っ掛かった。それを外そうと脚立に昇り、バランスを崩して1.5m位の高さから転落して足を負傷した。	36	371	1	10～ 29
2017	5	15～ 16	非鉄倉庫から外へ出ようとした際に突風により扉が急に閉まり、とっさに右足を出したところ、右足甲を扉に挟まれ圧迫骨折となった。	17	418	7	30～ 49
2017	5	14～ 15	修理工場内にて、パーツクリーナーを使いしゃがんで部品を洗浄中、近くで溶接作業をしていた火の粉が飛び落ち、パーツクリーナーから排出されて、下に溜まっていたLPガス成分が入っているパーツクリーナーに引火し、ビニール製のジャンパーを着ていたため衣服に火がつき、体に火傷を負った。	41	513	11	10～ 29
2017	5	8～9	屋外より事務所内部へ徒歩にて移動中に、仕切戸の敷居に躓き転倒して左足首をひねり、右膝を強く打った。	56	417	2	1～9
2017	5	8～9	1階輸送作業場にて、2段積みのカゴ台車（鉄製、キャスター付）を整理しようと移動させた時、上段のカゴ台車がずれ落ち掴んでいた左手を負傷した。	31	362	7	50～ 99
2017	5	8～9	リサイクルセンター入口にて、ゲート下のワイヤーに躓き転倒した際、手に持っていたDVDプレーヤーで右手薬指を切ってしまった。	67	521	2	30～ 49
2017	5	16～ 17	タイヤ交換時にタイヤを持ち上げようとした際、腰を痛めた。	31	522	5	30～ 49
2017	5	14～ 15	培養土の袋詰め作業終了後ベルトコンベア付近をほうきを使って清掃中（ベルトコンベアの下部及び上部）にそのほうきと一緒にベルトコンベアに右腕を挟まれた。	74	224	7	1～9
2017	5	14～ 15	店舗の看板取付け工事中、高所作業車をアウトリガーで地面に固定し、バケットを自ら操作し店舗屋根上の荷物を降ろす作業をしていたところ、ブーム後方旋回中にバケットが車道にはみ出し、そこへ	29	146	6	10～ 29

			大型トラックが減速せずに走行してきて衝突した。バケットから体が投げ出され、店舗の壁面にぶつかり、地面に落ちた。				
2017	5	14～ 15	本社1号館メッキ職場にて、大型金管楽器のメッキ作業の最終工程の湯洗い工程にて、ワークを湯洗いしていた。保護具を着用（長靴は滑りにくい指定の物）し、槽の前に立ち両足を平行にして腰を曲げて腰を下ろし膝を槽に当て上半身を曲げてワークを湯洗槽に入れて洗浄していた。その際に濡れたグレーチングで足を滑らせ、上体が前に出ている為バランスを崩し、上半身が湯に浸った。	46	391	11	500 ～ 999
2017	5	11～ 12	工場構内において、被災者がパレット5段踏みを台にして（高さ1m位）作業中、高さが合わず4段積みにする為、フォークリフトを使い同僚が運転し、パレットを持ち上げバックする際、誤ってレバーを前進にしてしまい、パレット前で待機中の被災者がラック（棚）とパレットの間に挟まれた。	49	222	7	1～9
2017	5	10～ 11	フッ素樹脂製（円筒形、約30kg）の底に部品を取り付ける作業中、作業台の上でポンプを向こう側に90度回転させた際に、作業台の端に転んだ為、転げ落ちてきた。両腕で抱え込んだが重さに耐え切れず、しゃがんだ状態になり、太ももにポンプが当たり打撲した。	40	529	4	100 ～ 299
2017	5	15～ 16	冷蔵庫ライン後行程のFR（ファインリサイクル）の風力選別機で生産中、樹脂の詰まったのを監視モニターで確認したため、安全棒で取り除こうとした時に取りきれずに、風力選別機のシロッコファンの点検口を開けて設備が動いている状態で右手を入れて取り除こうとした時に巻き込まれ、右手の平を裂傷、人差し指中主骨を骨折、人差し指腱を損傷した。	52	169	7	50～ 99
2017	5	9～ 10	当社工場敷地内に設置している焼却炉（投入口48cm×33cm）にゴミと一緒に設備で使用した廃グリス（Φ30cmの20?ペール缶に八分目位）をペール缶ごと投入したあと、現場を離れて作業していたが、黒煙が昇り始めたので焼却炉に駆けつけると、投入口付近の間隙から炎が噴き出ており、慌ててバケツで水をかけた為、燃えてい	49	341	11	10～ 29

			る脂に水を注いだこととなり、それが飛び散り、逃げようとして背中を火傷した。今まで廃グリスの処理は産廃業者に依頼していたため、社内で焼却処理をしたことはない。				
2017	5	11～ 12	工場内の作業場において、機械の土台の位置を動かそうと土台の下 の隙間に手を入れた時、機械と床の間に指を挟み裂傷した。	38	211	7	1～9
2017	5	9～ 10	当組合工場内でクッカーの点検口の修理をしていたところ、ドレン を抜いていなかった為に熱湯が噴き出し、左腕と左足に熱傷を負っ た。	68	519	11	10～ 29
2017	5	10～ 11	工場部置場において部材パレット移動中に、台車通路がふさがれて おり、人力（手）で無理やりに移動させようと力を入れた。	43	611	19	50～ 99
2017	5	16～ 17	塗装工事中に、2ヶ所の塗り残しをタッチアップしていたとき、1ヶ 所にフックを掛けて終わり、2ヶ所目にフックを掛けようとしてふ らつき落ちた。	46	416	1	1～9
2017	5	14～ 15	取引先から次の取引先に行く営業車で移動中の信号停車中に、後ろ からぶつかられ、頸椎捻挫、腰部打撲を負った。	43	231	17	1～9
2017	6	10～ 11	工場内にて物置の製作中、物置屋根部分からはみ出しているシール のCuttingを後退しながら行っていたところ落ちたものであ る。（物置の高さは約2.5m）	55	415	1	10～ 29
2017	6	13～ 14	廃プラスチック洗浄機で洗浄作業中に、左示指、中指を機械に入れ てしまい、怪我をしてしまった。	27	169	7	1～9
2017	6	12～ 13	駐車場において、業務使用中のワンボックスカーの後部ドアより荷 物の積み込み作業完了の後、ドアハッチを上部から勢いよく閉めた 際、ドアの左側の縁に右側頭部が接触し、裂傷を負った。	43	231	3	1～9
2017	6	16～ 17	当社作業場において、フォークリフトの運転中、進行方向にゴミが 落ちていたので、ゴミを拾うためフォークリフトを一旦停止させ降 りようとしたところ、右足を着地の際に捻ってしまい右足首に受 傷した。	34	921	19	1～9

2017	6	11~ 12	当工場内において、ビン製品の検査作業で不良品の型番をホワイトボードにペンで記入し、ボード用のペンを小走りで所定の場所へ戻しに行った際、横向きに置いてあったハンドフォークに足を引っ掛けて躓き、コンクリート床に転倒して右足を骨折し、左足を捻挫する。	51	362	2	10~ 29
2017	6	12~ 13	トラックの積み荷搬入中、荷台に乗って荷物を手前まで持っていったところ、足場があると見誤って、荷物を持ったまま受け身が取れず、1m位のトラックの荷台から落下した。	39	221	1	30~ 49
2017	6	8~9	工場3階にて、清掃場所に急いで向かうために走って移動していたところ、床に靴が引っかかってバランスを崩し、右手をついて2回転倒した。転倒の衝撃で右手首を負傷した。	60	417	2	100 ~ 299
2017	6	17~ 18	約50cm高の脚立の上で钣金作業中、横を振り向いた際にバランスを崩し、背面に落下した。着地の際、左手より地面に落ち、手首を捻る様になってしまい圧迫骨折した。	55	371	1	1~9
2017	6	8~9	工場敷地内で廃棄火薬の処理作業中、完全に処理できなかった火薬をバケツに入れておき、小分けに処理をするので、1回目の処理の火薬を地面に並べて燃やそうと、バーナーを点火したところ、バツと炎が上がり、自分の顔と右腕を負傷した。	31	511	11	1~9
2017	6	10~ 11	自社敷地内において、フロンガス100kg充填容器（労災発生時の重量は満タン150kg程度）の梱包作業を行っていたところ、発送用パレット（高さ15cm）に載せるため、容器の下側を持ち上げた際、容器の重心がずれてしまい、容器が倒れそうになったため、無理な姿勢で容器が倒れないようかばった。その時に腰に激しい痛みを覚え、腰痛を発症したものである。	37	921	19	1~9
2017	6	10~ 11	社内工場内において、廃タイヤの破碎作業中、破碎設備のタイヤ自動搬送送出バーに安全ガードの外側から内に手をかけていたため接触し、骨折した。	60	169	3	10~ 29
			会社の工場内で製袋機の片付け中、ダンボールを取ろうとして左手				

2017	6	17~ 18	を出した際、隣の製袋機の稼働中のゴムベルトに指を突っ込んでしまい、左中指の爪が割れて出血した。	39	121	7	10~ 29
2017	6	15~ 16	ゴム製造のためにゴム原材料を混ぜ合わせるゴム練り工場において、練り用ローラー機にゴムの材料を入れて練り作業をしている時、左手への意識がそれてしまい、ローラー部に左手を挟まれ、左手5指を負傷した。	52	163	7	30~ 49
2017	6	9~ 10	フィルムシートをカット機で切断する際に、フィルムシートの端が丸まっていたので、カット機を止めずに手を出して修正しようとした為、右手人差し指の先端を負傷した。	46	169	7	50~ 99
2017	6	16~ 17	化粧品が入っている箱（重さ25kg）を床に下ろす際、ゆっくりと床に置くために腰に力が入り、腰部を痛めた。数日間、痛みが引かなかった。	44	611	19	30~ 49
2017	6	11~ 12	自社工場において、畳製造中、機械（両用機）が途中で糸が絡んで止まり故障したので、機械のかまをモンキーを回して外していたところ、かまが半回転した反動で、機械横に付いているL字金具に左手甲をぶつけて皮膚が裂けた。	70	169	19	1~9
2017	6	8~9	20フィートのコンテナ内で、輸入貨物の仕分け作業を行っていた時、一つの荷物を取り出した際に他の荷物が荷崩れを起こし、その荷物に体が後方にはじき飛ばされ、コンテナから落下し、地面に両足から着地して倒れ、左足を負傷した。	41	611	1	50~ 99
2017	7	10~11	畳床製作工場内において、畳床製作機械を止めずに機械に付着したゴミを取り除く作業を行ったため、機械のツメ部分にはさまれて右手親指を骨折した。	35	169	6	10~ 29
2017	7	11~12	事務所内において、塗装部品検査の前の準備作業中、台車（高さ15cm）に7段積みで載っている自動車用プラスチック部品が入っている段ボール箱（45cm×30×25約5kg）を上から順番に一箱ずつ床に降ろしているとき、最後の7箱目を降ろすためしゃがみながら	41	611	19	10~ 29

			段ボール箱を持ったとき、腰に急に負担がかかりその際負傷した。				
2017	7	14~15	製造用設備のガラス器具を組み立てている際反応容器のふたに攪拌羽根を取り付けている時ガラス製の反応容器ふたが攪拌羽根に接触し、割れてしまい、右手小指を割れたガラスで切ってしまった。	31	529	8	100 ~ 299
2017	7	10~11	飼料製造工程中で、原料の入った2段積み重ねたメッシュコンテナをフォークリフトで運ぶときに、積み重ね状態が少しずれたので、手でずれを直そうとして、押したり引いたりして、誤って上下のメッシュコンテナの間に左手中指を挟んでしまった。タイ、永住者	45	611	7	10~ 29
2017	7	20~21	上期日、営業所の屋外に設置してある冷凍庫において冷凍庫内から荷物を持ち出そうとしたところ、冷凍庫のドアを開けた際に風でドアが勢いよく開いたために、その拍子に仰向けに転倒し、負傷したもの。	57	417	2	30~ 49
2017	7	15~16	2階作業場でカゴ車に積んであったコンテナに入ったカットかぼちゃをピロー包装機で包装するため、カゴ車のフックを外そうとした際、フックが変形していて外すのが困難だったため、下からバーを叩き外したところ、バーが外れて左手を挟み負傷した。	22	362	7	100 ~ 299
2017	7	14~15	得意先からゴミ回収のため工場へ行き、確認したところ少量であったため回収せず、事業場へ戻るため軽トラにて移動。雨が降りそうだったので路上に車を止め荷台のシートを全面に掛けようと荷台に乗り煽りに腰を掛け引っ張ったところ、毛布を入れてあるボックスの下に挟まっていたビニール部分が突然取れ、その反動で路上に落下。その際頭部を打ち負傷。	58	221	1	10~ 29
2017	7	8~9	会社内のコンテナ用プラットホームに載せてあったアップライトピアノが落ちてしまいプラットホーム下で作業していた被災者が落ちてきたピアノの下敷きになった。ピアノはプラットホーム上でフォークリフトの操作ミスにより、下に落下。	54	611	4	10~ 29
			会社内の工場で材料のエポキシ樹脂（縦20cm×横30cm×厚				

2017	7	10~11	1cm・重量約4kg) を工作機械で左側を固定し左手を添え削っている時樹脂のため材料が滑ってしまい材料が飛んでしまった。その時材料が左手の手のひらあたりに当たってしまい負傷した。	23	169	4	1~9
2017	7	21~22	製品のバリをコンベアに流していたところ、コンベアがいっぱいであつたため、コンベア上方に投げ入れ様とした際ロボット（停止中）の刃がある事を忘れ誤って刃に左手薬指甲近辺を当て負傷してしまった。	30	169	8	50~99
2017	7	15~16	第1工場3Fから2Fへの階段をおりる途中で、つまずき、階段を踏み外し、左手を階段についてしまった。	37	413	2	100~299
2017	7	20~21	生産数が完了した成形機の成形データを成形指図書に記録するため検査場から2階に上がる中央階段に向かうため検査台間の立入禁止区域看板をつけてあるチェーンをくぐり金型搬入コンベアを跨いだ。跨いだとき股が開ききった状態になり右ひざの内側をローラーコンベアにぶつけた。	28	419	3	10~29
2017	7	10~11	成形型の固定型と可動型を離すため両方を凍結している金具（引っぱりリンク）のボルトを六角レンチにパイプを取り付けて緩めようとした時、左手が滑り型の一部（型取り付け板）に手をぶつけた。	65	364	3	100~299
2017	7	10~11	会社工場1階の塗装ブース前で、塗装作業に入る前の準備中に、床に置いてあるスプレーガンを取ろうと、かがみ、起き上がろうとした時に、腰に激痛がはしり動けなくなった。近くに居た社員に声をかけ助けを求めた。	29	921	19	10~29
2017	7	13~14	水系廃棄消火器処理場にて、パッケージ型消火設備の消火薬剤を回収タンクに放射する準備中、メッシュパレット（金属製、内寸法：幅1,200m/m×奥行：1,000m/m、高さ：750m/m）に入ったパッケージ型消火設備（幅：700m/m、奥行250m/m、高さ：1,600m/m）×3台（総重量560kg）、メッシュパレット内幅（約1,000m/m）とパッケージ型消火設備の奥行（250m/m×3台＝	58	521	7	10~29

			750m/m) ですき間が250m/mが有り、箱の扉を開けてホースを取り出して放射準備をしたが、高さと重量が重かったためバランスが悪い状態であった。パッケージ型消火設備が傾きカゴとの間に左手第二指挟まり受傷。				
2017	7	9~10	工場内において、冶具部品の取替を、冶具と冶具の間隙（約60cm）に作業員二人で背中合わせで作業をしていた。一人が、グラインダー作業を終え駆動を止めて振り返った際、グラインダーの刃が完全に停止しておらず、もう一人の背中に刃が当たり負傷した。作業ルールでは、背中合わせでの作業を禁止していた。次の作業へ急いで移動しようとし、グラインダーの駆動の停止確認を怠った。	18	153	8	—
2017	7	17~18	地面に置いてあった製品乾燥用のブルーシートに足が絡まり転倒。左膝からの着地となり、左膝蓋骨折。	40	417	2	10~ 29
2017	7	8~9	当社工場にて押し出し機に材料を入れて締めていた所、誤って右手の指を挟み損傷した。	25	169	7	10~ 29
2017	7	10~11	出張修理に向かうため弊社所有のサービスカーで走行中わき見をしてしまい前を走行していた車が停車した事に気付くのが遅くブレーキを踏んだが間に合わず衝突し負傷した。	35	231	17	30~ 49
2017	7	14~15	納品（ゴム印）するため二輪車の乗り走行中、道路の凸面に乗り上げ右側に転倒し右鎖骨を骨折した。受傷出勤していたが手術が必要となり、医師のすすめにより休業となったため本件提出する。	38	231	17	50~ 99
2017	7	11~12	1階に於いて作業中、商品（重量約30kg）をカゴ車に搭載しようと持ち上げたところ、背中を痛めた。	42	921	19	100 ~ 299
2017	7	13~14	工場内で作業していたら別棟の作業所一階から煙がでていたため、消火しようとした時、爆発がおこり逃げようとした時、転んで怪我をした。	36	417	2	1~9

2017	7	16~17	資材倉庫の階段で、資材倉庫から紙管とキャップを運ぶために階段をおりていたところ、最後の一段を踏み外して右足を負傷した。両手で荷物を抱えていて前がよく見えなかったが、そのまま階段をおりたために発生したものである。	32	413	1	30~ 49
2017	7	14~15	ボール盤の穴あけ箇所の手取りを行うため、製品を左手で固定し、面取りしていた。面取りカッターは研磨したばかりのため、くい込み、左手で固定していた製品が回り、固定していた左手がカッターに当たり、左手人差し指を切った。	48	152	8	10~ 29
2017	7	23~24	鶏豚工場エキスパンダー2号機サービスタンク上のカットダンパーの動きが悪かったため、手動にて調整した。動作しなかったため手で触っていたところ、急に作動し、エアシリンダーとダンパーアームの間に右手親指先を挟んだ。	49	169	7	50~ 99
2017	7	9~10	飼料の配送業務終了後、ミキサー車（配送用車両、10t車）の飼料掃き出し口（放出口）の清掃中、掃き出し口が地上約1mの後輪の近くに位置していた為、後輪に足を掛けた姿勢でスコップを使用し清掃していたところ、降雨により地面が泥っていた為、軸足が滑り、姿勢を崩してよろけた際、左胸が掃き出し口に入ってしまう、そのままの姿勢で体重が掛かり骨折したものである。	67	221	3	1~9
2017	7	10~11	朝、工場のシャッターを開けたところ滑ってしまい、モーターが利かず二の腕辺りにシャッターが落ちて来た。最初は大事なことではなかったが、だんだん痛みが出てきて、内出血もしていた。	47	418	4	1~9
2017	7	11~12	工場内にて作業中に歩いているとき、雨が降っていたため水溜りの中を歩いてしまい、転がっていた石を踏みつけて、足を捻り挫いてしまい、膝を痛めた。	31	523	19	10~ 29
2017	7	10~11	アパート2階、壁面かごのせエアコン室外機の修理作業中、梯子より約3m下に転落し、頭蓋骨・鎖骨を骨折し、脳挫傷、くも膜下出血を負った。	41	371	1	1~9
			トンネル工事現場へ生コンクリートを運搬し、荷卸待機をしてい				

2017	7	13～ 14	た。先行の運搬車の荷卸し終了後、セントル内の生コンクリートを送り出す配管内を洗浄するため、配管末尾にトンバック（コンクリート飛散防止用具）を接続し、現場作業員がセントル内から圧力をかけていた。その際、配管内が詰まっていたため配管内の圧力が通常より上がり、詰まっていた残留物が勢いよく排出され、車を降りて同僚車輛の生コンクリート状況を確認していた被災者に、飛散したコンクリートの粗骨材が直撃し、負傷した。	65	169	4	10～ 29
2017	7	9～ 10	当社事業所において、被災者は、印刷作業中に印刷物の様子を見に行ったとき、コンテナ（縦53cm、横37cm、高さ20cm）が置いてあることに気づかず、躓いて転倒した。その際、左腕から地面についてしまい、左腕肘付近を骨折した。	62	611	2	50～ 99
2017	7	16～ 17	シャンプー、ボディソープ包装工場内の中2階9系パウチライン付近で、業務を終えて帰るため、出口側に向かって歩行しているとき、床面で足を滑らせ、左足首を捻った。当初は捻挫だと思い一旦帰宅したが、痛みが引かなかったため受診したところ、左足腓骨を骨折していた。	55	417	2	50～ 99
2017	7	8～9	作業台で作業をしているとき、カッターの刃の交換時になかなか入らなかったため、力を入れ過ぎて滑り、誤って左小指の第1関節の箇所を切った。	41	364	8	10～ 29
2017	7	11～ 12	工場R倉庫内で梱包作業のため、釘打ち機（90mm釘用）で操作を誤り、右親指の当たり負傷した。	47	169	3	10～ 29
2017	7	14～ 15	工場内充填課作業場において充填作業中に、充填機のコンベアーに挟まったチューブを除去しようとした。本来ならば機械を停止して行うことになっている作業であるが、少しはじき出す程度だから大丈夫と思い、停止せずにそのまま行ったところ、誤ってコンベアー上に取り付けてあるカバーとコンベアーの間に右手人差し指を挟まれた。	52	224	7	10～ 29
			畳の納品で、アパートのエレベーターで畳（2m×1.2m×5.5mm、重				

2017	7	8～9	さ30kg) 2枚を運び、2階に着き、エレベーターから畳2枚を同時に抱え持ち上げたとき、首の左側面から左肩にかけて激痛が起こり、作業を続けられなくなった。	32	611	19	10～ 29
2017	7	10～ 11	工場内の飼料紙袋取り出し口にて、飼料の袋詰め作業中に、紙袋を挟む作業機械に確認せずに手を入れ、指を挟んだ。	37	169	7	10～ 29
2017	9	8～9	製品棟クッカー装置の踊り場階段に於いて、通常作業の移動中に誤って足を滑らせ転び、左足膝をコンクリート床についた際、左足膝に痛みが走り、工場長に報告し病院へ行った。	68	417	2	10～ 29
2017	9	11～ 12	畳床の製造作業中、機械の台からおりる時に（段差の高さが30cmくらい）、足をすべらせてあお向けに転倒した。転倒した時に右手を下についてけがをした。	68	371	2	10～ 29
2017	9	16～ 17	工場内のウレタン加工作業場所にて、二人作業でウレタンを移動していた所、一人が先に手を離し、腰に負担が掛かり腰痛症となった。当日、翌日は通常作業していたが、徐々に痛みが酷くなり休業する事となった。（全治3週間）	52	611	19	100 ～ 299
2017	9	17～ 18	型材加工職場で形状加工をしているとき、材料をバイスに挟もうと中指に掛け斜めに持っていた（中指がバイス口金に近く挟まれやすい状況だった）その状況でバイスクランプのスイッチを押したところ垂直になった材料とバイス口金の間に中指を挟まれ怪我をした。	46	169	7	50～ 99
2017	9	6～7	リサイクル工場内において、攪拌機に小麦粉を入れる作業時、1台ずつに小麦粉を入れる時、背中を曲げると違和感を感じた。それから腰椎、左足が痛くて足を引きずるようになり、杖を使用しなければ、左足が思うように歩くことができなくなった。	64	611	19	10～ 29
2017	9	14～ 15	上記日時、当社2階作業場から1階に階段で下りていたところ、途中で足を滑らせ転倒し、そのまま下までずり落ちる。その際、左脇腹を打撲し左肩（背中側）も強打する。	23	413	1	30～ 49
		16～	ピッキング場ケース置場において、ケースをピッキング作業中、				10～

2017	9	17	ケースの端に掛けてあった紐に右足が絡みバランスを崩して転倒し、コンクリートの床に右足を強打し骨折した。	54	416	2	29
2017	9	11～12	プレス作業中、右手を金型に入れたままプレスを作動してしまった、親指、人差し指、中指を損傷した。	52	154	7	30～49
2017	9	4～5	15個の空バケットを回収してパレットに乗せる作業中、バケットの乗せ方が不十分だった為、バケットが手前に倒れてきた。左側へよけた時に左足をパレットの角に引っ掛けてしまった、左斜め後ろへ倒れそうになったので左手で床を強く突いてしまった。	55	379	5	100～299
2017	9	7～8	厨房で、ゴミ捨て作業中、扉の開閉をしているとき、強風が吹き風の勢いを見誤ってしまい、扉に右手人差し指を挟んで骨折・切断するケガをした。	27	391	7	10～29
2017	9	1～2	弊工場、成型3系の380号機成型ラインにおいて、製品（プラスチック製食品容器）の検査仕上げ作業中、成型機の製品穴あき検知機の警告音が鳴動したため、半製品集積部にて不具合品を取り除こうとして左手を差し出したところ、手元側に移動してきた半製品移動装置のスライド部とスライドシャフトのストロークエンド部に左手人差し指先端部を挟まれて、負傷した。	47		7	100～299
2017	9	0～1	当事業場内において、製品検品（1箱50個入りの通い箱より製品を5個ずつまとめて取り出し、検査する）を数カ月前から行っていたが、徐々に右手に違和感を覚え、今回は痛みと痺れが酷くなり製品を持つことが出来なくなった。被災後負荷の少ないラインへ移動し、定時まで就労後、自宅でシップをしていたが、痛みが取れない為、翌日接骨院を受診した。	22	611	19	50～99
2017	9	7～8	工場にて、木製チップを炉に投入するためのスクリュウにチップが詰まっているか確認する為に上がった際に、機械が止まっていると思い木くずが有ったので手を突っ込んで取ろうとしたところ、機械が再び回りだし、軍手が引っ掛かり、左手を巻き込まれ、左手を負傷した。	45	121	7	10～29

2017	9	15～ 16	倉庫内で、フォークリフトのつめにぶら下げた粉体の入ったフレコンの重みで、そのフォークリフトが前方に傾き後輪が浮いた状態になっていた、別のフォークリフトで元に戻そうとした、横側から別のフォークリフトのつめを傾いたフォークリフトのマスト部分をロープでくくりつけ、別のフォークリフトを運転してつめを持ち上げたところ、傾いたフォークリフトが急に元に戻り、別のフォークリフトのつめが、傾いたフォークリフトのつめの上にあったため、別のフォークリフトの方が引き上げられて横転した、その際、運転していた者も地面と一緒に横倒しとなり、地面に体を打ちつけて負傷した。	59	222	2	10～ 29
2017	9	16～ 17	食品容器用PETシートのロール状の原反の交換作業において、原反の鉄芯を成形機の固定する溝に2名にて移動中に、通常であれば、全ての指で鉄芯を掴んでいるところ、誤って右手人差し指を伸ばした状態で作業して、固定する溝と鉄芯に指が挟まれ、間隔が狭い為、人差し指を切断したもの。原反の重さは約300kgである。	47	169	7	10～ 29
2017	9	9～ 10	木材加工工場のオガ粉を貯蔵するサイロからダンプトラックにオガ粉を積み込み作業中に、何らかの原因で転落、積み込みは完了していたので、残る作業はサイロの扉を閉め荷台にシートを張るのみであると思われるが、当日朝は雨が降って車体も濡れてすべりやすく、なおかつ、積荷のオガ粉の上という足場が不安定で高所の作業であるにも関わらず、携行していたヘルメットを装着せず作業していた、本人の意識がないので断定はできないが、濡れた車体で足をすべらせて落ちたのではないかと思われる。	60	221	1	10～ 29
2017	9	16～ 17	工場内出荷置場で出荷材料準備中、パレット積材料タンクを専用の器具を使わずに手で積み替え作業を行った際、材料タンクが誤ってパレットより外れ、足先に接触して負傷したものである。	33	611	4	10～ 29
			会社の敷地内（堆肥工場）にて堆肥を運搬する10tトラックの鉄板取り付け作業の手伝い（修理）をしている時に、鉄板を乗せていた				

2017	9	8～9	パレットを荷台の中の方から後ろの方へ引っ張る際に、パレットが割れてその勢いで下へ落ちた、鉄板を乗せてパレットが腐っていることに気付かず、鉄板を乗せる前にパレットの点検をしておくことが必要だった。	43	221	1	30～ 49
2017	10	16～ 17	網のカゴに入れたアルミの製品を混酸槽に入れ、それを取り出す作業をしていた際、混酸（硝酸・フッ酸）が左腕と両足にかかって薬傷となった。（長靴は履いていたが、前掛けはしていなかった。）	30	511	12	50～ 99
2017	10	15～ 16	工場の外で粉砕機の掃除を行い、工場内へ粉砕機の移動中、入口で勢いをつけて押した為、粉砕機のバンラスが崩れ粉砕機が倒れ足を骨折した。	43	162	6	10～ 29
2017	10	16～ 17	倉庫内でパレットに5段積してあった南京袋（70c×60c×重さ50g）が乱雑に積んであったので、手カギを使い直そうと、袋に手カギを掛けたところ、右横に倒れ右足太ももつけ根あたりを骨折した。	57	417	3	50～ 99
2017	10	15～ 16	住宅建材外壁塗装の小物素版搬出ラインで両面塗装の切り欠き部分の塗料溜まり・垂れの取り除き作業中、完成品がコンベヤ上に詰まっていたが、流れていこうと思ひ、搬出ボタンを押して次の小物素版をライン上に押し出した時、完成品にぶつかることに気が付き、抑えようとして咄嗟に出した右手（軍手着用）が搬出品と完成品の間で挟まれ負傷した。（台板一枚約30kg、縦559mm×横1200mm×高75mm）	24	911	7	10～ 29
2017	10	16～ 17	本人が会社にて看板製品部品の内、アクリル盤部品を作るため準備工程として、プレス機に木型を設置しようとして作業していた際に発生した。事故防止のため機械の動作は止めて確認後に作業していたが、木型設置手順ではプレス機の周囲で安全を確かめて作業を行うところ、本人はプレス機の台座に上がり、作業してしまった。その為に本来は安全な位置に固定してあるプレス機の一部に本人の頭	42	154	3	30～ 49

			部が強くぶつかり、負傷した。本来の作業手順や方法を遵守せずに作業したことが原因であるが、同じ作業に従事していた作業者らの注意喚起もされていない様子のため本人も作業への安全について意識がなかったと思われる。				
2017	10	11～ 12	会社で運動会を開催。綱引きを行っていたところ、綱ごとよろけて腰を打った。	52	921	19	30～ 49
2017	10	9～ 10	設備点検に車で向かう際に交差点に於て車と接触事故となり助手席に乗車していたため全身を打撲し負傷した。	50	231	17	10～ 29
2017	10	6～7	当事業所内解体作業場に於いて、ニブラに乗り解体作業をしていたところ、出荷業者のトラックが来たので、誘導等の対応する為、ニブラから降りようとした。操縦席から地面まで高さ（135cm）があった為、一旦キャタピラに降りたところ、キャタピラにオイルが付着しており、付着したオイルで滑り、転倒しキャタピラ部分に背中を打って負傷した。	64	169	3	50～ 99
2017	10	13～ 14	包装・梱包作業場よりハンドリフトを使用してパレットに積んだ製品を出荷置場まで後ろ向きに運搬していたところ、フォークリフトを使用し出荷置場の手前のトラックバース付近にて運搬作業を行っていた。被災者が後方に旋回した際にフォークリフト後部と背中が接触し、両膝が地面につくように倒れ右足脛部がフォークリフト後方底部に巻き込まれ骨折した。	45	222	6	50～ 99
2017	10	20～ 21	丸ノコ自動カット設備（1,140×700×980）で、成形品カット作業を実施中（1サイクル毎にスタートスイッチON）1サイクル終了後、設備の横に行き、設備の上部に右腕を掛け、設備の裏側下部の通常では手を入れない切り粉排出口（Φ100）の中に左手を入れてしまった際、右手を掛けていた近くにあるスタートスイッチに触れてしまい刃物が回転し、指先が刃物に触れてしまった。	60	131	8	30～ 49
			弊社構内のビニールハウスのビニール張り替え後の手直し作業中、ハウス内の高さ180cmくらいにある換気扇（縦1m×横1m）周りの				

2017	10	11～ 12	ビニールの張り具合を調節しているとき、ファンカバーの針金部を留めてある溶接部分が劣化のため、たまたま一本外れ、その際はじかれた針金が左拇指爪の下部にあたり負傷した。	65	391	4	1～9
2017	10	16～ 17	当社工場内において、超音波溶着機を使ってクリアファイルの片面を溶着する作業中に、誤って右手を機械に挟んで負傷したものである。	67	169	7	30～ 49
2017	10	7～8	出勤し、タイムカードを打刻後、作業現場に向かって歩いていた。トラック（2トン車）の横を通過していたときに、ゴミが落ちていたため拾っていたところ、トラックが発進し、トラックに巻き込まれて負傷した。	51	221	7	10～ 29
2017	10	11～ 12	当社倉庫にて、木材製品にドリルで穴あけ加工中、誤って軍手がドリルに巻き込まれ、左手人差指を負傷した。	70	134	7	10～ 29
2017	10	8～9	運搬用エレベータで2階に上げた台車をエレベータ内から引き出す時、車輪が隙間に脱輪し、普段より強い力で引き出そうとして腰を痛めた。	23	362	19	100 ～ 299
2017	10	8～9	会社倉庫前で、トラック荷台に製品を積み込む作業中に、足を滑らせ、転落した。その際、左手を地面に打ち、手首を骨折した。	43	221	1	30～ 49
2017	10	11～ 12	看板の取り付け作業中、補助として脚立に乗っていた際にバランスを崩して転落し、背中と後頭部を強打した。	48	371	1	1～9
2017	10	12～ 13	抜き加工製造室で試作品抜き加工をしている時、調整中にプレス部分で製品の状態確認をしたためプレス部分に手を挟んだ。	70	169	7	10～ 29
2017	10	16～ 17	磨き班乾式3号機前バフ機でエアブロー作業場を交代しようとした時に、後方を確認せず後ずさりしたため、回転しているバフ機に背部が当たり、背部を火傷した。	29	153	8	100 ～ 299
2017	10	15～ 16	固場にて、堆肥を散布するため、堆肥入りフレコン（500kg）をユニックで散布車に入れる作業をしていた。ユニック車荷台より散布車へ乗り移る際に足を滑らせ、ユニック車荷台のドアの支柱に接	59	221	1	10～ 29

			触し、ユニック車と散布機のすきまに落下し脇腹を骨折した。				
2017	10	8～9	養魚飼料製造工場で、20kg入りの紙袋の製品の抜き取り作業時に包材送り部の下に落ちた袋を拾おうとした際、機械を停止させず体を入れたため、頭部を（ヘルメットごと）横移動する袋抱きと調整ガイドバーに挟まれ被災した。	51	169	7	10～ 29
2017	11	15～ 16	事業所第2工場機械室の鶏糞を掻揚げベルトコンベアのベルトが片側に寄ってきたので、修復しようとしてバールにてローラー周辺へ鶏糞を取り除いていた時、バールがローラーに巻き込まれコンベアフレームとバールの間に指が挟まれ骨折した。	42	364	7	10～ 29
2017	11	9～ 10	脚立の上で、成型機のドレン弁にドレンホースの取り付けが終わり、脚立から降りる時、足を滑らせて脚立の中に右足が入り、右手を捻る様にそのまま床に倒れ、右肘を打った。	25	371	1	50～ 99
2017	11	21～ 22	工場内のウレタン製品の製品接着エリアにて接着作業中に足元を這っていた延長コードを踏んだところ、コードが床を滑ったため転倒した。その際、作業台の角に右脇腹が当たった。翌週、一日は出勤したが痛みがあったため、二日間は休み、その後の二日間は出勤した。痛みが引かないため、後日に受診したところ、肋骨を骨折していた。	52	379	2	100 ～ 299
2017	11	10～ 11	利用者への介助をしていたところ、おやつを食べ終え座っていたショートステイ利用者様が急に椅子から立ち上がったので危ないと思い、その方の所へ行き、椅子に座って頂くよう話をしたら、いきなり左首の辺りを3回殴られた。軽い痛みだったので、湿布を貼り、様子を見ていたが、翌日痛みが強くなったので、病院受診をした。	50	611	2	30～ 49
2017	11	14～ 15	トラックの荷台に乗り、枝木の積み込み作業をしていたところ、誤ってバランスを崩して地面に落下してしまった。その着地の衝撃で左足首付近を負傷した。	44	169	7	50～ 99
		11～	クレーン付近で作業をしていたところ、クレーンで吊っていた建築				30～

2017	11	12	資材が落下し負傷した。	41	169	7	49
2017	11	8～9	就業場所敷地内の入口付近で、取引先の方がいたため、挨拶をしようとした時、花壇のコンクリートの縁に足を引っ掛けてしまい、バランスを崩し転んでしまった。咄嗟に左手をついたことにより、左手首の骨折となった。	72	417	2	100 ～ 299
2017	11	8～9	当社敷地内のトイレに用を足しに行き、トイレ入り口に2段の階段があり、上の段でフラットして段を踏み外し、地面に転倒してしまった。その際に身体を支えるため左手を地面についたが、変な向きでついてしまったため左手手首を負傷してしまった。	55	413	1	10～ 29
2017	11	15～ 16	当社A6作業場（シリコンブリケット製造工場）内で、SiC（珪化炭素）とセメントを混ぜて攪拌するミキサーの稼働作業に従事中、ミキサーから排出されてベルトコンベアに載せるジョイント部分（ミキサーからの排出口）にSiC（珪化炭素）が詰まって、ベルトコンベアに載せることができなくなった。そのため、屈んで詰まったSiCを手で取り除こうとして、回転中のミキサーの攪拌羽（鉄製）に右手を挟まれた。	40	169	7	10～ 29
2017	11	10～ 11	発泡スチロール製品梱包作業工場（コンクリート床面）で、スチロール製品をビニール袋に梱包作業中、ビニール袋を掛けてある自立ハンガー式の治具を移動する際、引っ張ったところビニール袋とハンガーの重さで逆にハンガーが前に倒れ一緒に体ごと前に倒れた。ハンガーの前に手をつけて体を支えたが、ハンガーの足部で脛を打ち痛みがあったが、様子を見ながら3日間作業を行ったが、胸の痛みがあり診察してもらった。	68	379	5	50～ 99
2017	11	16～ 17	事務用・通信用機器組立作業場においてプラスチックダンボールで用品入箱を作成中、プラスチックダンボールを床面に置いてカッターナイフで切り込みをしていた時、誤って金尺で押さえていた左手にカッターが当たり負傷した。	61	364	8	10～ 29

2017	11	15~ 16	工場構内にて、直径約30cm、幅約10cmのクラフトテープを丸鋸で断裁中、クラフトテープを固定する台はなく、不安定な状態のままパレティーナのなか一人で作業していた。断裁中、クラフトテープを押さえていた左手が滑ってしまい、左手人差し指第一関節上を右手で使用していた丸鋸で裂傷した。	60	169	8	10~ 29
2017	11	11~ 12	塗装場での作業中、塗装後の吊り下げられた30kg程の鉄の製品を持ち上げて、フックから外しておろす作業中に腰に激痛が走った。	38	921	19	1~9
2017	11	18~ 19	S1ライン供給工程M梱エリアで、部品パレットをシューターに投入する際、シューター前で停止しフォークを上昇させてから前進したが、上昇の高さが低くシューターと部品パレット下部が当たった。当たった衝撃でハンドルを持っていた左肩に痛みを感じたが、その時は大丈夫と思い作業を継続し帰宅したが、翌日左肩の痛みが出た。	64	222	3	100 ~ 299
2017	11	14~ 15	工場内で台車から商品の運搬中スロープに商品を荷下ろしする時に、転倒を防ごうと踏ん張った時に、スロープから足を踏み外し右足首を痛めた。	26	417	19	50~ 99
2017	11	10~ 11	自社3Fの製作部前の作業通路にて、一人で宝石ディスプレイ用台座の再利用の仕分けを行っている際、その台座が入った重さ9~10kgのダンボールの中から台座を取り出そうとした時に、ダンボールとの距離感が狂いバランスを崩し、ゴムスリッパを履いていた足が前に滑って右足指をダンボールにぶつけ負傷し痛くなり、すぐに帰宅し、自宅近くの病院で手当てを受けた。	40	611	3	10~ 29
2017	11	5~6	構内駐車場において、車を止め徒歩で移動中に、仮置き資機材に躓き転倒し、左膝蓋骨を骨折した。	49	417	2	30~ 49
2017	11	12~ 13	造粒機にホッパへ肥料の原料を投入していた際、ホッパの内側にこびりついた原料を鉄製の棒（長さ180cm）でそぎ落とそうとした時に誤ってホッパの底部に転落し、粗砕機とホッパの側面との間に挟まれた。レスキュー隊員によりホッパから引き上げられた時に	58	162	7	1~9

			は、既に心肺停止の状態であった。				
2017	11	9~ 10	工場でクレーンで鉄を持ち上げる作業をしている者の近くで、補助作業をしていた際に、降ろした鉄にクレーンが引っ掛かり、それが倒れて右足首を負傷した。	58	211	2	10~ 29
2017	11	11~ 12	検品済みの製品をパレティーナに移す際に、規定よりも多い数を持って作業をしていた。急いでいた為、無理な姿勢のまま腕を振ってしまい、製品の重量で肘を捻った。	46	529	19	1~9
2017	11	9~ 10	歯間ブラシ製造現場にて、機械立ち上げ時、部品へ注油しようとした時に、製造機の機械部分に左手首を挟まれ負傷した。	34	169	7	50~ 99
2017	12	14~15	事業所平判製品梱包場所にて、平判包装機から製品が仕上がり、梱包場所手前まで搬送される。被災者は搬出ボタンを押し、製品搬出コンベアを稼働させた。コンベア停止前にコンベア上でパレット修正を行った為、コンベアとロールに右足を挟まれた。	34	224	7	100 ~ 299
2017	12	15~16	サッシの中にウレタンを注入する作業中、誤って左手にウレタンを付着させてしまった。それに気づかず作業を続けたが、ウレタンの付着を指摘され、手袋を外したところ、左手の指が赤くただれていた。その日は様子を見ていたが、痛みがひかず、後日に病院を受診した。手のひらがゴム貼りの布製手袋を着用して作業していたが、甲側から浸み込んだ。	31	514	12	30~ 49
2017	12	20~21	工場で、ガスキャビネットの組み立て作業中、点検口開口部の端面に触れ切創した。	22	521	8	100 ~ 299
2017	12	1~2	クラフト紙袋製造ラインにて、向かって右側からベルトコンベアで流れてきた製品（クラフト紙袋の束）をベルトコンベアと繋がっている手動式ローラーコンベアに流す為、製品の左端を左手で下から支えながらベルトコンベアの流れる速度を上げるボタンを自ら右手で押した所、ベルトコンベアの勢いに左手が流され、そのままベルトコンベアとローラーコンベアの間で挟まれ負傷した。	23	224	7	100 ~ 299

2017	12	15~16	1階資材、自動倉庫前エリアで、対象となる資材（紙類）の入ったコンテナを作業台車から両手で持ち上げ、自動倉庫に入庫に行く際、パレットと作業台車の間を歩行中、足をパレットに引っ掛けてしまい、コンテナを持ったまま転倒し、左腕を床面に強打した。	63	379	2	500 ~ 999
2017	12	18~19	発送梱包作業をするエリア内で、2冊のアルバムを両手に持ち移動中、スタンドタイプのホワイトボードの脚につまずき、抱えていたアルバムで受け身が取れずに両膝から床に転倒し、左膝蓋骨を骨折した。	51	379	2	50~ 99
2017	12	13~14	お昼休憩が終わり、工場の2階の作業場に向かう途中、2階への階段付近にてドスンという音とともに、1階の床に倒れていた為、救急車にて搬送され、その後、死亡が確認された。	69	413	1	1~9
2017	12	17~18	当社工場内1階の出入り口付近に於いて、年末大掃除のゴミ出し作業中、誤って足を滑らせ転倒し、左足大腿骨を骨折したものである。	48	417	2	10~ 29
2017	12	17~18	トラックからトラックへ自動販売機の積み替え作業のため、トラックの荷台に上っていた。夕暮れ時であったため薄暗かったせいもあり、バランスを崩してトラックの荷台から転落してしまった。その際、まず右足が地面に着き、そのまま捻って倒れ込み、右膝を負傷した。	38	221	1	10~ 29
2017	12	14~15	会社の資材置場で単管パイプ等の資材を手作業で整理している時に足場が不安定だった左足側が崩れてしまい、左足関節後踝骨折となった。	44	521	2	10~ 29
2017	12	18~19	事業場内にて荷物を運んでいた際、段差に足をつまずき転倒し、左足首を骨折した。	45	419	2	1~9
2017	12	15~16	トラックから供花をおろす作業中、トラック荷台の入り口のところに出ていた突起（ネジのようなもの）に右手人差し指を引っ掛けて切ってしまった。	20	521	8	30~ 49

2017	12	7~8	荷物（120cm×60cm×50cm、重さ約20kg）をワンボックス車で受け取りに行き、リアゲートから荷物を押し、被災者が荷台前方へ引き込む際、連携がうまくとれず手が荷物から抜けてしまい、その勢いで後部座席の鉄パイプ部分へ右手側面を強打し、負傷したものである。	33	611	3	50~ 99
2017	12	19~20	2階から1階のトイレに行く為に階段を下りていた際、バランスを崩して転落し、負傷した。	52	413	1	30~ 49
2017	12	16~17	集塵機から粉塵を排出し、フレコンバックに入れる工程での作業中に、異常を感じたため点検しようと、排出口ロータリーが作動中にもかかわらず誤って左手を入れてしまった。	50	169	7	10~ 29
2017	12	11~12	作業中にカッターナイフが左腕に当たり、切ってしまった。	39	364	8	10~ 29
2017	12	17~18	3階ブラスト室にて、高さ約1.8mのブラスト機天板に登り、機器部品の修理交換を行い、作業終了時に脚立を使用せずに飛び降り、右足踵にひびが入った。	44	419	3	30~ 49
2017	12	13~14	中古車販売センター内にて、看板を設置するためクレーンで吊り上げている途中に、地上より1m位の所で突風に煽られ、吊りワイヤーが切れ、看板が落下した際に、誘導者が看板の下に足を挟んだ。	44	372	4	1~9
2017	12	8~9	当社工場内で、換気扇周りの掃除作業中、電源を切らずに、右手にエアコンプレッサーのノズルを持ち掃除していたとき、誤って換気扇の回転している羽根に右手が当たり、右手小指を負傷した。	67	169	7	10~ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html